

（仮称）岩手中部広域クリーンセンター

上棟式

北上、花巻、遠野、西和賀の4市町で構成する岩手中部広域行政組合（管理者・高橋敏彦北上市長）が整備を進めている（仮称）岩手中部広域クリーンセンター整備及び運営事業建設工事の上棟式は5月29日、和賀町後藤の現地で行われました。

関係者など約40人が参加。

4市町長が建物の鉄骨にボルトを締め工事の安全を祈願したほか、発注者を代表し高橋北上市長、施工者を代表し三菱重工環境・化学エンジニアリング（株）の土井亨代表取締役社長があいさつを行いました。

同センターは約4・2ヘクタールの敷地に工場棟と管理



平成27年10月からの本格稼働に向けて建設中の同センター

棟などを建設し、4市町からの家庭系可燃ごみ、事業系可燃ごみ、不燃物から選別される可燃物を受け入れ、2基の焼却炉で年間55817トンの処理量を計画しており、来年10月の本格稼働を目指します。

家庭用ごみ袋およびシール券

製造などの受託事業者決定

「北上市指定家庭用ごみ袋及びシール券製造配送保管業務」の受託者選定を6日、市民交流プラザ催事場で行いました。

これまでごみ袋の製造などについては、製造などの価格のみで受託者を決定してきましたが、今回の業者選定には価格評価のほかに、資源の有効利用や環境対策などの評価を加えた、総合評価落札方式による選定を取り入れました。業者からのプレゼンテーションには4社（サトーグリーニンエンジニアリング（株）、（株）関東オークラ、石川産業販売（株）と船場化成（株）のグ



4市町の首長がボルトを締め安全を祈願しました

第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会 第35回全日本マスターズ陸上競技選手権大会

実行委員会第2回総会開催

第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会・第35回全日本マスターズ陸上競技選手権大会に向けた実行委員会第2回総会が10日、江釣子地区交流センターで行われました。総会では、これまでの事業

報告をはじめ9月19～23日に北上陸上競技場で開催される同大会での事業や準備状況について説明されました。同大会には国内から約2500人、海外から500人が参加する見込み。選手の受け入れ態勢

の強化や、（仮称）国際交流パレードや飲食物を有料で提供する「アジア友好屋台村」の設置、東日本大震災復興展、物産品の販売など事業の開催を確認しました。



各社から環境に配慮した提案が出されました

ループ、ジェイフィルム（株）が参加し、各社独自の環境対策について提案がありました。プレゼンテーション終了後、学識委員を含む選定委員会を行い、総合評価点が高いサトーグリーニンエンジニアリング（株）を受託者に決定しました。

受託者は、今年の9月1日から5年間で、燃えるごみ袋燃えないごみ袋およびシール券の製造、在庫の管理、配送などを行います。

第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会 第35回全日本マスターズ陸上競技選手権大会

9月19日（金）～23日（火・祝）
北上総合運動公園北上陸上競技場

問い合わせ 大会実行委員会 ☎71-5034
スポーツ推進課 ☎72-8270



写真提供：アジアマスターズ陸上競技大会実行委員会

大地震を想定し 第1次収容避難所開設訓練を実施

第1次収容避難所開設訓練は6日、本庁舎や各地区交流センターなどで行われました。訓練は、岩手県沖でマグニチュード9・0と推定される地震が発生、市内で震度6強を観測することを想定し、第1次収容避難所を開設するまでの手順を確認することを目的として実施されました。同避難所担当職員のほか、避難所である各交流センターの指定管理者などが参加。3庁舎では避難から避難所出動指示

を受け出動するまで、各地区の交流センターでは建物の被害調査をはじめ、防災備蓄倉庫内の備蓄品の確認、発電機の稼働の仕方や投光器の使い方を実践しました。その後、防災行政無線を使用して災害対策本部との情報伝達訓練を



発電機の稼働の仕方や投光器の使い方を確認しました

国立競技場の座席6500席が 北上陸上競技場へ譲渡決定

実施し、万が一の際の対応や心構えを確認しました。

2020年東京五輪・パラリンピックに向け、解体される国立競技場の座席6500席が北上市へ無償譲渡されることが5月30日に決定し、翌日行われた同競技場の最終イベント「ファイナルセレモニー」に高橋市長が参加し、(独)日本スポーツ振興センターの河野一郎理事長から目録を受け取りました。

座席の取り外し作業は29日、県内100人首都圏から500人の合計600人のボランティアと、(公財)岩手県トラック協会の協力を得て行われます。

市内の避難者状況

(5月31日現在)

田野畑村	宮古市	山田町	大槌町	釜石市
1世帯	11世帯	27世帯	74世帯	48世帯
4人	18人	61人	144人	118人
大船渡市	陸前高田市	宮城県	福島県	市内間
15世帯	30世帯	21世帯	19世帯	2世帯
31人	54人	50人	47人	2人

※市で把握している人数です。市内に避難している人で、まだ北上市に連絡していない人はご連絡ください。

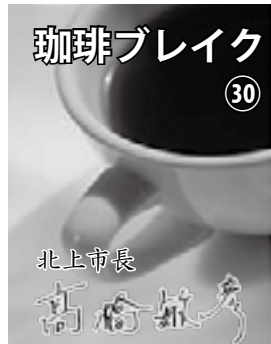
北上陸上競技場は2年後の希望郷いわて国体・希望郷いわて大会開催に向けてリニューアルを予定。国立競技場の備品の無償譲渡に申請していた座席が要望通り譲渡されることになりました。



河野理事長(右から2人目)から目録を受け取った高橋市長(右から3人目)

アジアマスターズに 出よう!

出よう!



先月号で国立競技場から北上市への座席の無償提供について書かせていただいたが、その北上陸上競技場を会場に、9月19〜23日までの5日間、アジアマスターズ陸上競技選手権大会が開催される。国内外から約3000人のエントリーが見込まれている。参加資格は25歳以上であれば誰でも良く、5歳ごとにクラス分けされ、中には100歳以上というクラスもある。6月30日が締め切りなので、我こそはと思われる人は遠慮なくエントリーしていただきたい。トラック競技は60mから1万m、跳躍競技、投てき競技、リレーなど、31種目にあつて競技が繰り広げられる。勝つことが目的の人もあれば、記念に参加し、交流や観光が

目的の人もあると聞いている。選手としての参加はチョット、と思われる人はぜひ、各国の応援をお願いしたい。すでに各小中学校や自治組織の中には応援方法を考えているところもあり、こぞって会場に足を運んでいただければ大いに盛り上がり、来訪した選手役員の記憶に残る大会になると思う。加えて、大会を観戦していただくことによつて、彼らができることなら私にもできる、と思つていただきたいのである。一人でも多くの皆さまがスポーツの楽しさを感じ、健康で生き生きと暮らしていただきたきかけになるものと思うからである。

そう言う私はまだ何に出場するか決めていないが、初めての種目に挑戦するのもいいかなと思つている。大会期間中、会場ではいわてまるごと肉フェスタ2014が開催され、きたかみ牛をはじめ、県内各地から自慢の肉や肉料理が集まるほか、屋台村、本通りで開催されるきたかみまつりとフェスタとのシャトルバス連携もあり、十分にお楽しみいただけるものと思つた。ぜひ、ご期待いただきたい。